



横須賀市自然・人文博物館 メールマガジン 2017年12月8日号



◆学芸員自然と歴史のたより◆



「ナウマンゾウ発見」をもたらした横須賀製鉄所



明治初期に観光パンフレットとしてつくられた「横須賀港一覽絵図」。図の下の方は、現在のヴェルニー公園あたりになります。図の真ん中には、現在のヴェルニー公園の対岸の様子が描かれています。ここには、たくさんの工場などが描かれています。この工場群は、横須賀製鉄所として起工され、明治4(1871)年に横須賀造船所となった施設です。その中心的な施設は、ドライドックと呼ばれるもので、大きな船を修理するのに活躍しました。

図の真ん中から、やや左上の方に、岸壁から内陸部の方に向かって掘られた3つのドライドックに船が入っている様子が描かれています。大きな船は、完成後に海に入れた後、陸地に引き上げて修理するのが難しくなります。そこで活躍したのがドライドックで、横須賀製鉄所（造船所）でも外国の民間船も含めて修理を行い、収益を得ていました。職員の勤務時間外にドックを延長して使用する場合には、時間外の割増料金も必要だったようです。標準の勤務時間を定めて労務管理を行っていた点でも横須賀製鉄所は先駆的な施設でした。

このように、横須賀製鉄所（造船所）の中心的な施設であったドライドックですが、建設前はどのような場所だったのでしょうか？このドライドックの敷地には、かつて高い山をもつ半島がありました。ドライドックはこの半島の山を切り崩して、更に岩盤を掘り込んで建設されました。そのため、地盤が安定しており、これらのドライドックは現在でも現役で使用されています。

この大きな山を切り崩している最中、大きな骨の化石が発見されました。建設に携わったフランス人たちは、この化石の写真を撮影し、化石とともに大切に保存しました。この写真は、横須賀製鉄所首長ヴェルニーの子孫宅にも保存されており、写真の説明には、「Machoir(あご) fossile(化石) d' elephant(ゾウの) 6 Novembre 1867」と記されています。横須賀製鉄所のフランス人は、専門家が研究する前に、発見された化石を「ゾウのあごの化石」と特定していた可能性があります。横須賀製鉄所で発見されたこの化石は、ドイツ

人の「ナウマン」によって研究され、後に「ナウマンゾウ」と名付けられました。そう、横須賀は「ナウマンゾウ発見の地」であり、最先端の学術研究と向き合い続けてきた都市でもあります。（近代建築学担当：菊地）

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/news/24968>

◆展示情報◆

特別展示「なつかしの道具展～遊んで学ぶ博物館～」

2017年12月16日（土）～2018年4月8日（日）

昭和11年製の消防車や陶器製の消火器、真空管ラジオやレコード、初期の炊飯器などなつかしい道具を展示し、昔の茶の間も再現します。また、今ではみられない漁師のハレ着「万祝（まいわい）」を博物館オリジナルのデザインで製作した過程の映像や、木綿から布ができるまでの記録映像を上映します。けん玉やコマなど昔ながらの遊びが自由に楽しめる体験コーナーもあります。

★主な展示資料等

- ・昭和11年製の消防車と陶器製の消火器
- ・万祝とその製作工程の映像
- ・昔の茶の間と炊飯器やラジオなどの電化製品
- ・けん玉やコマなど、実際に遊べるおもちゃ

★展示解説（参加自由）

【日時】12月16日（土）、平成30年4月1日（日） 14時～15時

【場所】本館特別展示室

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/exinfo/24322>

トピックス展示「むかしの写真―旧海軍の絵はがき―」

2018年3月4日（日）まで

---

博物館が所蔵する旧海軍の絵はがきを並べて展示します。軍艦だけでなく旧海軍の建築の絵はがきも展示します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/exinfo/24929>

---

トピックス展示「イヌ・犬・戌年」

2018年1月14日（日）まで

---

平成30年（2018年）の干支は戌（イヌ）です。戌年にちなみ、博物館の収蔵資料の中から、イヌ、タヌキ、キツネ、オオカミなどイヌ科の動物の剥製や骨格の標本、イヌに関連した名を持つ生き物の標本などを紹介します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/exinfo/24936>

◆イベント情報 ◆

---

研究発表会「みんなの理科フェスティバル」

2017年12月14日（木）～2017年12月19日（火）

---

小学生から高校生・一般まで、さまざまな理科工作・理科研究を一同に展示します。博物館でも関連イベント・展示を開催します。12月14日（木）の午後（14:00～16:00）、12月17日（日）の午前（10:00～12:00）と午後（14:00～16:00）に、それぞれ口頭発表を行います。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/24084>

---

博物館教室「横須賀ジオツアー（地層観察講座）」

2018年1月20日、2月3日、2月17日、3月3日、3月17日（いずれも土曜日）

---

事前申込制。三浦半島の地球科学について解説し、横須賀市内の地層や岩石を野外で観察します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/24106>

---

自然館ミュージアムトーク（12月）

2017年12月16日（土）

---

申込不要。博物館の学芸員が自然館の展示や最近のトピックスについて解説します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/24098>

---

天神島ガイドツアー（12月）

2017年12月24日（日）

---

申込不要。天神島臨海自然教育園内の動植物や景観などの見どころを紹介します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/24152>

---

発行：横須賀市自然・人文博物館

---

本メールは送信専用アドレスから配信されています。

このまま返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。

このメールの無断転載を禁止します。

登録内容の編集・解除は下記より行ってください。

<http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/mailmagazine/entry>